

高井戸第二小学校

学びを支え、深める学校図書館

今の学校図書館

本校の読書活動の目標は、言葉を大切にした表現力豊かな児童の育成を図るとともに、読書活動を通して心豊かな児童を育成することである。そのために、読書場、学習場としての環境を整えており、約1万7000冊の蔵書を備えている。

学校図書館の運営

- ・学習センター、情報センターとして活用できるように、蔵書構成を考えた選書を重視。
- ・学校図書館を活用した学習を充実させるため、学校図書館全体計画を作成し、実施している。
- ・学校図書館便りの作成、発行。
- ・「たかにおすすめ本」をホームページに掲載。

1年間の主な活動

- ・読書旬間を春と秋に実施。
(図書委員会集会、読み聞かせ動画作成、本の福袋、栄養士と連携した本の世界のメニュー給食、教職員のおすすめの本紹介、題名・作者ラリーなど)
- ・保護者による朝の読み聞かせ（7月～3月）
- ・保護者の読み聞かせ勉強会の実施
- ・小中交流活動（読書郵便）
- ・多読賞の表彰



図書委員会作の
本の福袋



教職員のおすすめの本

特色ある取組

- ・「たかにおすすめ本」の選定

各学年の発達段階に合わせた、小学校のうちに読んでほしい本を選定している。(低学年 50 冊、中学年 60 冊、高学年 80 冊)

- ・保護者による読み聞かせ

毎年、学校支援本部を通じて保護者から読み聞かせのボランティアを募り、月1回朝の活動時間に読み聞かせを行っている。また、保護者の方には、講師を招へいして読み聞かせの勉強会を実施している。

- ・多読賞の表彰

1年生 50 冊、2年生 60 冊、3年生 3000 ページ、4年生 4000 ページ、5年生 5000 ページ、6年生 6000 ページ、久我山学級 40 冊を目標に設定し、達成した児童に賞状を贈っている。

これからの学校図書館

児童が様々な本にふれて、主体的に読書を楽しむようにしていくとともに、必要に応じて様々な資料を適切に活用する力を身に付けさせていきたい。

高二小の学校図書館は、隣り合うパソコン室とともに「ラーニングセンター」と名付けられている。ラーニングセンターとして、児童が図書資料やタブレット端末を使用した調べ学習に取り組める場所として活用していけるようにさらに整備していきたい。